

## 2020年度 取締役会実効性評価に関する結果の概要について

2021年6月25日

日本KFCホールディングス株式会社

当社は、持続的な成長と企業価値向上のために、取締役会の実効性を評価・分析し、課題を認識し改善を図る目的で、毎年少なくとも1回、取締役会の実効性評価を実施しております。

今般、2020年度の実効性評価（2020年4月1日から2021年3月31日までに開催された取締役会）について、以下のとおり評価を行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

### 1. 評価のプロセス

評価にあたっては、全取締役（社外取締役、取締役監査等委員を含む9名）を対象として、アンケート調査を実施いたしました。

〈主要な設問テーマ〉

- 取締役会の規模・構成
- 取締役会の運営状況（事前の情報提供方法、資料の量や質等）
- 取締役会における審議の実施状況（付議議題の適切性、十分な議論が行われているか、経営判断における適切なリスクテイクを行えているか等）
- 諮問委員会（報酬、指名）の機能

その回答結果を踏まえて2021年5月20日開催の実効性評価において取締役会の実効性について議論を行い、今後の対応を確認いたしました。

### 2. 評価結果の概要

上記のアンケート結果をもとに取締役会において議論を行い、現状を分析した結果、当社の取締役会は適切に機能し、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。今年度のアンケートの結果は概ね高評価であり、昨年度のアンケート結果と比較しても、より高評価となっている項目が複数見られ、取締役会は良好に運営されていると評価を行っております。

### 3. 今後の取り組み

今年度の取締役会実効性評価の結果から、以下の項目については、改善の余地があるため改善に努めてまいります。

- ◆ 取締役会の諮問機関である報酬諮問委員会および指名諮問委員会からの答申内容を踏まえ、取締役会での議論の活性化。
- ◆ コンプライアンスや財務報告に係る内部統制、リスク管理体制の整備・運用状況に関して個別の事案ごとの議論だけでなく、全般的な議論の実施。
- ◆ 非常勤取締役へ社内の重要会議での議論の内容・要点等の情報提供の充実。
- ◆ 取締役会当日の議案説明の効率化と議論の活性化。

以上